【開催日】姫路市会場：令和 5 年 12 月 1 日～18 日､21 日

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑)都市計画に係る説明会　説明内容

スライド 2

・播磨臨海地域道路は播磨臨海地域を東西に結ぶ新たな高規格道路で、全体計画は神戸市から太子町までの約 50km です。
・今回の説明対象は、神戸市西区の第二神明道路から姫路市広畑までの約 32km の区間となります。

スライド 3

・これまでの経緯について、ご説明します。
・左側に｢都市計画手続を含む、道路計画の検討｣、右側に｢環境影響評価手続｣の流れを示しています。

【都市計画手続を含む、道路計画の検討】

・平成 25 年 12 月に国土交通省が｢優先区間の絞り込み手続｣に着手しました。
・｢優先区間の絞り込み手続｣は、｢緊急性が高い区間について、整備を優先的に取り組む区間として決定する手続｣で、地域の皆様へのアンケートやヒアリング調査を実施するとともに、有識者委員会での審議を経て、｢優先区間｣ を平成 28 年 5 月に決定しました。
・平成 29 年 3 月に国土交通省が、｢計画段階評価手続｣に着手しました。
・｢計画段階評価手続｣は、｢複数案の比較・評価を行うとともに事業の必要性及び事業内容の妥当性を検証する取組み｣で、地域の皆様へのオープンハウスやアンケート・ヒアリング調査を実施するとともに、有識者委員会での審議経て、令和 2 年 11 月に概略ルートを、4 つの案から、内陸・加古川ルートに決定しました。
・その後、国土交通省から都市計画素案の基となるルート計画案が、令和 4 年 11 月に県・神戸市に手交されました。

【環境影響評価手続】

・計画段階評価手続と並行して、国土交通省により、環境影響評価手続が進められ、事業の早い段階で環境への配慮事項をとりまとめた｢配慮書｣が作成されました。
・その後、兵庫県が令和 3 年 7 月に、調査、予測、評価の項目、手法をまとめた｢方法書｣を公告・縦覧しました。方法書の手続では、説明会を 5 市 2 町の 12 会場で合計 13 回開催し、地域の皆様からご意見をいただいています。

スライド 4

・環境影響評価で調査、予測、評価を行う項目は大気質、騒音、振動などの 14 項目です。

スライド 5

【都市計画手続を含む、道路計画の検討】

・兵庫県と沿線市町が連携して、都市計画決定に向け、国土交通省の協力を得ながら、都市計画の検討を進めてきました。

・今回の説明会は、皆様のご意見を伺い、都市計画の案を作成するため開催しています。

【環境影響評価手続】

・調査、予測の結果と、環境保全措置を取りまとめた「準備書」を作成中です。「準備書」については、縦覧中に別途説明会を開催します。

スライド 6

・都市計画で定める事項です。

・区域については、縮尺 2500 分の 1 の平面図に道路の区域を示します。

スライド 7

・今回の計画区間は、第二神明道路から姫路市広畑までの 5 市 1 町を通過します。

・起点は神戸市西区の第二神明道路に接続する、明石西 JCT で、終点は、姫路市広畑の広畑ＩＣです。

・途中、加古川 JCT で国道 2 号バイパスの姫路方面と、姫路 JCT で国道 2 号バイパスの神戸方面、岡山方面、および播但連絡道路に接続します。

スライド 8

・播磨臨海地域の主要路線では、交通量に対し、容量が不足しており、国道 2 号バイパスや国道 250 号といった東西の主要幹線と、臨海部から国道 2 号バイパスにアクセスする南北道路で慢性的な渋滞が発生しています。

・このような交通状況により、次のような課題が発生しています。

スライド 9

・地域の課題の 1 つ目は、「慢性的な渋滞による経済活動への影響」です。

・臨海部の工業地域から、地域外への物流は、搬入・搬出ともに神戸・大阪方面が約 6 割で、主に国道 2 号バイパスが利用されていますが、慢性的な渋滞により、経済活動に影響が発生しています。

スライド 10

・地域の課題の 2 つ目は、「慢性的な渋滞による観光への影響」です。
・姫路市への観光客は、兵庫県の東側からの来訪が 4 割以上を占め、自家用車等を使った来訪が 5 割以上となっています。
・この自動車利用の観光客のうち 5 割以上が、国道 2 号バイパスを利用していますが、慢性的な渋滞により、速達性や定時制が確保できないといった影響が発生しています。

スライド 11

・地域の課題の 3 つ目は、「多発する交通事故」です。
・国道 2 号バイパスでの交通事故は、渋滞による速度低下が原因の一つと考えられる追突事故の割合が約 8 割で、県内の自動車専用道路の平均より死傷事故率が約 2 割も高くなっています。

スライド 12

・地域の課題の 4 つ目は、「災害リスク」です。
・沿岸地域の一部の主要幹線道路では、洪水や南海トラフ巨大地震に伴う津波が発生した際に浸水による通行止めが懸念されています。
・また、播磨地域の臨海部には、地震による液状化の危険度が極めて高い地域が広く分布しています。

スライド 13

・ルート帯の決定経緯についてご説明します。
・先ほどご説明した地域の課題を解決するため、政策目標を実現するための対策案として、播磨臨海地域を東西に結ぶ新たな道路ネットワークの形成を計画し、4 つのルート帯案が設定されました。

スライド 14

・地域の意見聴取で、「製造業の活性化、投資促進」、「交通事故の削減」、「災害に強いまちづくり」について重視すべきとする意見が多かったことを踏まえ、3 項目全てにおいて効果が期待できる「内陸・加古川ルート」が 4 つの案の中から選定されました。

スライド 15

・播磨臨海地域道路全体のルートと IC の配置です。

スライド 16

・計画路線の概要です。

スライド 17

・第二神明道路や国道 2 号バイパスとの接続形態です。
・明石西 JCT では、第二神明道路の神戸方面に相互に接続します。
・加古川 JCT では、加古川バイパスの姫路方面に相互に接続します。
・姫路 JCT では、新たに姫路バイパスの神戸、岡山の両方面と、播但連絡道路に接続します。

スライド 18

・ジャンクションについて、３D モデルを用いたイメージ図でご説明します。
・明石西ジャンクションでは、第二神明道路に接続する計画であり、第二神明道路の神戸方面と往来ができます。

スライド 19

・加古川ジャンクションでは、国道 2 号加古川バイパスに接続する計画であり、国道 2 号バイパスの姫路方面と往来ができます。

スライド 20

・姫路ジャンクションでは､国道 2 号姫路バイパスと播但連絡道路に接続する計画であり、国道 2 号バイパスの神戸、岡山の両方面と､播但連絡道路の豊岡方面と往来ができます。

スライド 21

・姫路南ジャンクションでは、播磨臨海地域道路の神戸、岡山の両方面と、播但連絡道路や国道 2 号姫路バイパスに接続する計画です。

スライド 22

・高砂市に設置される伊保インターチェンジ、姫路市に設置される大塩インターチェンジ、白浜北インターチェンジ、白浜インターチェンジ、飾磨インターチェンジ、飾磨西インターチェンジ、広畑インターチェンジについて、ご説明します。

スライド 23

・伊保インターチェンジは、ハーフインターチェンジで東方向に対応しており、神戸方面と往来することができます。
・接続する一般道は、イオンタウン北側の都市計画道路高須松村線となります。

スライド 24

・大塩インターチェンジは、ハーフインターチェンジで西方向に対応しており、岡山方面と往来することができます。
・接続する一般道は、姫路シーサイドゴルフコース北側の市道となります。

スライド 25

・白浜北インターチェンジは、ハーフインターチェンジで東方向に対応しており、神戸方面と往来することができます。
・接続する一般道は、八家排水機場南側の市道となります。

スライド 26

・白浜インターチェンジは、ハーフインターチェンジで西方向に対応しており、岡山方面と往来することができます。
・接続する一般道は、東部析水苑西側の市道となります。

スライド 27

・飾磨インターチェンジは、フルインターチェンジで東西方向に対応しており、神戸、岡山の両方面と往来することができます。
・接続する一般道は、姫路バイパスの市川ランプから南進する、飾磨中島緑地グラウンド東側の市道となります。

スライド 28

・飾磨西インターチェンジは、フルインターチェンジで東西方向に対応しており、神戸、岡山の両方面と往来することができます。
・接続する一般道は、姫路バイパスの中地ランプから南進する、臨港道路姫路飾磨線となります。

スライド 29

・広畑インターチェンジは、ハーフインターチェンジで東方向に対応しており、神戸方面と往来することができます。
・接続する一般道は、広畑川北側の市道となります。

スライド 30

・詳細なルートについてご説明します。
・左ななめ上が北向きになっており、高砂市と姫路市の市境付近の、高砂市伊保町、曽根町、そして姫路市大塩町、的形町周辺を示しています。
・赤色が播磨臨海地域道路の概ねの道路の区域を表しています。
・播磨臨海地域道路は高砂市の法華山谷川を渡った後、イオンタウン北側を通り、イオンタウンの西側に都市計画道路高須松村線と接続する伊保インターチェンジを設置します。
・そして、既に 4 車線で都市計画決定されている高須松村線の区域を通り、松村川、天川を渡り姫路市域へと向かいます。
・姫路市域に入った後は、姫路大学と姫路シーサイドゴルフコースの間を通過し、姫路シーサイドゴルフコース北側の市道と接続する大塩インターチェンジを設置します。
・その後、大的中学校南側を通り、播但連絡道路に接続するため北向きに進みます。
・主な道路の構造は高架構造となります。

スライド 31

・左ななめ上が北向きになっており、播但連絡道路と国道 2 号姫路バイパスが接続する姫路ジャンクション付近の高砂市北浜町、姫路市的形町、別所町周辺を示しています。
・播磨臨海地域道路は、山陽電鉄本線、国道 250 号を高架構造で超え、トンネルや土工(盛土や切土)で西向きに進みます。
・その後、新たに設置する姫路南ジャンクションから播但連絡道へ接続するため北向きに進み、姫路ジャンクションにて姫路バイパスおよび播但連絡道に接続します。

スライド 32

・八家川河口付近の姫路市木場、八家、白浜町周辺を示しています。
・播磨臨海地域道路は、トンネル構造で八木小学校の東側を通ります。その後山陽電鉄本線、国道 250 号を高架構造で越え、八家川排水機場の北側で八家川を渡った後、八家川排水機場の南側の市道と接続する白浜北インターチェンジを設置します。
・その後、東部析水苑がある海側まで南下し、東部析水苑西側の市道と接続する白浜インターチェンジを設置する計画としています。

スライド 33

・市川河口付近の姫路市白浜、飾磨区妻鹿並びに中島周辺を示しています。
・この地域は、浜手緑地が連続しているため、その空間を活用しています。

・市川を渡った後、姫路バイパスの市川ランプから南進する道路と接続する飾磨インターチェンジを設置します。
・主な道路の構造は高架構造となります。

スライド 34

・野田川及び船場川河口付近の姫路市飾磨区周辺を示しています。
・播磨臨海地域道路は連続する浜手緑地の空間を活用し、山陽特殊製鋼の北側を通り、野田川を渡ります。その後は、同様に浜手緑地を活用し、船場川を渡った後、中地ランプから南進する道路と立体交差し飾磨西インターチェンジを設置します。
・飾磨西インターチェンジから以西は、今在家排水路を活用するルートです。
・主な道路の構造は高架構造となります。

スライド 35

・夢前川西側の姫路市広畑区周辺を示しています。
・播磨臨海地域道路は、夢前川を渡り、浜手緑地を活用し、広畑川北側の市道に接続する広畑インターチェンジを設置します。
・主な道路の構造は高架構造となります。

スライド 36

・今後の予定について、ご説明します。
・皆様のご意見を踏まえ、都市計画案の検討を進め、次回の説明会では、「インターに繋がるアクセス道路」や「その他の関連する都市計画施設の変更」について、ご説明します。
・また、環境に関しても、環境アセスメントの手続として、準備書の縦覧期間中に説明会を開催し、皆様方のご意見をいただきます。これらについては、改めて、広報紙やホームページでご案内します。